

コード	101020102
記入日	H26.6.2

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	横浦 利一

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	「探訪～四季を味わう上五島」補助事業
----------	--------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 18 年度 ～ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10102	基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進	目コード	3
事務事業コード	1010201	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金等交付規則 新上五島町商工観光振興奨励事業費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 観光客延数		(対象指標1)	240,518人 (H25観光統計)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・上五島観光物産センター展開事業、ほたるのふるさと相河川まつり開催事業、蛤浜で遊ぼうデー&白砂の芸術祭開催事業、観光資源新規開拓事業(「アート・ガレージ」展開事業)、長崎の島々・観光物産展事業、上五島教会めぐりウォーク&クルーズ開催事業、ファミリー・イン上五島教会コンサート開催事業、人材育成事業、情報発信・観光振興推進事業、長崎食の観光推進事業、韓国巡礼誘客・受入体制整備事業、クルーズ船誘客事業、五島列島橋ロード・マルチアクショニング大会開催事業	① (達成率分析)	***** 事業実施数 13事業	***** 100%	事業実施件数÷ 計画事業件数	***** 平成25年度
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・新上五島町の自然、歴史、文化を体験させる「探訪～四季を味わう上五島」を開催し、賑わいの創造による地域間交流と観光振興による地域の活性化を図り、本町産業経済の発展に寄与することを目的としている。 ・具体的には、上五島の「四季」に焦点をあて地域資源を活用したイベントや魅力的なプログラムの造成に努め、島外観光客の誘客により交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。また各種媒体とのタイアップや観光キャンペーン等開催を通じた島外への情報発信、旅行会社や学校を訪問する等の誘致活動を実施することにより、観光客の誘客を促進することを目的としている。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① (達成率分析)	***** 観光客延数 240,518人	***** 120.3%	観光客延数実績÷ 目標観光客延数	***** 平成25年度
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 事業	184	183	170	13	13				
	②									
成果指標	① 千人	1,594	1,664	1,423	200	241				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	271,612	269,190	226,062	45,550	43,128				
直接事業費 A	千円	80,512	78,090	61,562	18,950	16,528				
人件費 B	千円	191,100	191,100	164,500	26,600	26,600				
内訳	従事職員数	人	27.3	27.3	23.5	3.8				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	20,500	20,500	20,500					
	起債	千円	44,300	44,300	31,300	13,000	13,000			
	その他	千円								
一般財源	千円	206,812	204,390	174,262	32,550	30,128				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	世界遺産の暫定リストに本町から頭ヶ島天主堂が登録されているなど、これからの観光地として注目を集めているため、事業を行う必要がある。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	島外からの観光客は増加傾向にあり、十分な成果がもたらされている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地がありますか。	● ある ない	理 由	イベント参加者の声を参考にするなど満足度の高い事業を目指し、事業内容の改善に努めるとともに、効果ある情報発信に努めていく。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	観光事業は、これからの主要産業として必要不可欠であり、町の特性を活かした島外への情報発信イベントとして効果が得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	これからの主要産業のひとつとして地域経済を活性化するためにも、これ以上の事業費の削減はできない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	今後更なる集客増加に向け、現行のイベントに磨きをかけるほか、効果ある情報発信を行うとともに、受け皿となる観光関係者の人材育成に取り組んだ。
	今後、課題に向けた改善策	今後の課題として、更なる集客のための情報発信の強化、イベント内容の充実を図りながら観光振興を目指す。

2 次 評 価	本町の観光事業の根幹を成す事業であるため、更なる情報発信の強化を図るとともに地域資源を活用した新たな観光資源の開発やおもてなしなど魅力ある観光地としての創造に努め、観光振興及び地域経済の活性化を図ること。また、事業の成果をさらに向上させるため、観光客等の声、ニーズなどを的確に捉え、事業内容等の改善に努めること。
----------------------------	--

3次評価	
住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。